

### 第 21 回ミャンマースタディツアー 日記

10/22 日付 場所 ヤンゴン→ネピドー→バガ 天候 雨→晴  
 香井 悠吾 (15歳) 2015 / 3 /

まずミャンマーは都市部とそうでない地域との経済の格差が大きいのだ  
 ろうと思いました。ヤンゴンやネピドーなどの都市部は人であふれ、夜もライトで  
 照らされ、僕の住む地域にあるものよりも大きく立派なショッピングモールもあり  
 ました。一方、バス移動中に遠く見える田舎では、地理で言えばような街並  
 の住居が見えたり見本が限りの草舎があたりと、ほとんど開発が進んでいない  
 ような状況でした。ネピドーでは世界の国々と並ぶために、僕の感覚では  
 考えられないような土地やお金の使い方、経済の発展の着しさを感すると同時  
 に、先進した街の機能を使いていないような印象があり、なんだかもた  
 いがないと感しました。しかし今使いていないこの機能は、そのままこのネピドー  
 という都市ののびしろとも捉えることができると思います。これからさらに過  
 ぎずか国際的に重要な場に進化してゆくだろうと思います。田舎は自然  
 との調和がとれた、僕の「ヒマ」のイメージ通りの場所に見えました。  
 想像以上に畑や水田が多く、広い自然と農業用地の雄大さを感しまし  
 た。並に大きなお店もないので、ミャンマーでも自給自足の地域があるのだ  
 ろうと思いました。人と自然との調和しているこの機能が、実は尊いものであるの  
 ではないかと思えます。

ミャンマーの人々の仏教への思いの強さを感りました。ミャンマーの人の人柄  
 の良さは、仏教の教が今も何かつながるものがあると思います。僧侶が実際に  
 托鉢をしている様子や、それに対する人々の対応は見ていても新鮮に  
 感しました。托鉢が成り立つのは、僧侶の地位の高さからきており、それは  
 仏教の信仰心がとても強いことを物語ると思います。行く先々に必ず  
 パコダがあること、生活に祈りが根付いていることも僕にとっては興味果  
 かたです。日本では絶対に見られない光景をたくさん見ることができたと思  
 います。仏教の五戒である「生き物を殺さない」「ものを盗まない」「淫行をしない」  
 「うそをつかない」「アルコール類を飲まない」と守る人が数多くいるから、ミャン  
 マーの平和は保たれるだろうと思いました。僕もその心は見習ってきたいです。

### 第 21 回ミャンマースタディツアー 日記

2014 日目 場所 ミン東村 タウンシップ イレー 天候 晴れ

香井 悠吾 (15 歳) 2015 / 3 /

日本入が子どもを入園させる保育園を「選ぶことができる」という環境  
 におかれている中、ミャンマーでは、保育園が不足し、入れない子どもが多く  
 いる。このことを知り、保育園の重要性について考えました。小さいころは入る  
 のがあたりきりで、ありがたみも感じることなく通っていたように思いま  
 す。しかし、自分が保育園に通っていた期間に、基本的な道徳心を  
 身に覚えたり、数字や文字、歌を覚えたり、と確かに充実した。今考えると  
 とても大切な時間でした。自分にももしその時間が無かったら、と思うと、  
 親がある苦勞や小学校に入ったときの混乱は大変なものであったら  
 と不安になりました。だから実際に保育園に行けない子どもたちが多  
 くいるという問題は、同時に親の仕事への影響の問題、学校の  
 勉強についていけないという問題など他の人配事が増えるきっかけ  
 となっている。日本では考えもしなかつたようなことに出会ったよな気がしま  
 す。1月の経費が3000円である家庭もあると聞き、自分のおかれている  
 環境に感謝というよりは、世界や社会の不平等さに悲しくなりま  
 した。国にお金のお金の重みは違いますが、同じ量働いて、ここまで差  
 が生かせることにはショックを受けました。その問題に対して何もできない  
 自分を悔しく感じました。都庁部とそうでない所は学力の差もあるのではない  
 かという気がしました。それをどうやることは大変ですが、確実に必要なことだと思いま  
 す。ミャンマーの村で出会った子どもたちは、本当にかわいくて、目が楽しかったです。大人に  
 なってから、この子どもたちのために何か貢献をしたいて、そのために、今は自分が  
 日本で働くがやるべきことと着実にこなしていきたいと思います。

ミャンマーの自然や建造物が美しいことも知りました。木々の少ない地域も  
 あるものの、山では日本でも見られるような豊かな森林に出会うことが  
 できました。ただ、気温が高く、森林もあるという条件が揃っていないから、  
 虫が日本の夏より少ないことだ、不思議でした。また、多くの遺跡が夕日に  
 照らされる姿は、絶景で本当に感動します。ミャンマーはのどかさや発展がも  
 たらえた国だと促すこともできると思いました。

# 第 21 回ミャンマースタディツアー 日記

日付

場所

天候

香井 悠吾 (15 歳)

2015 / 3 /

観光したボゴダで絵はかきを売っている僕と同じか僕より小さいくらい  
 歳の女の子と見かけました。売り方は強引で、她ときは「ウ、ウ、ウ」とか思いつ  
 んでました。でも僕より小さい子どもが必死になってお金を稼ごうとしている、  
 そんな子どもたちが愛していることを後から思うと、言葉ではうまく表せな  
 いけれど、本当に辛い気持ちになりました。その子どもたちは着た  
 どの様な服を着ているのか、僕は考えることができませんでした。村で見た  
 子どもたちと、そこで見た子どもたちのどちらかと同じミャンマ  
 ーの子どものために、後者にはいいイメージが持てません。  
 僕はその責任が少なうとも、絵はかきを売っていた子どもたちがあるも  
 ちではないというも涙が流れました。あの姿は今でも思い出せ  
 ます。何か悲しくなりました。

今日ミャンマーへ行くと、ミャンマーの様々な風景を知りました。しかし逆に  
 自然とそれに頼る建物や生活の美しさも感じました。美しい  
 国ですが、今僕はミャンマーが好きです。次に訪れる時は僕が  
 一人として成長した時に行き、今回よりもっと多くのことを感じ  
 たいです。これから自分を考えることが、とても貴重な体験が  
 できました。ありがとうございました。

2015年4月3日

香井 悠吾